

技術的対話による企画競争の対話プロセスの公表

調達方法	技術的対話による企画競争
調達件名	政府共通プラットフォームでのクラウド移行検討促進のための技術的支援業務の請負
契約予定事業者	PwC コンサルティング合同会社
調達部局等	総務省行政管理局
公告日	令和2年7月10日
説明会	令和2年7月28日
提案概要書提出日	令和2年8月20日（契約予定事業者）
事前審査期間	令和2年8月20日～8月31日（12日間）
技術的対話期間	令和2年9月1日～10月1日（31日間）
改善提案書提出日	令和2年10月7日（契約予定事業者）
最終決定日	令和2年10月23日（契約予定事業者）
仕様書確定版提示日	令和2年10月30日
契約日（予定日）	令和2年12月24日頃

《事前審査・本審査・最終結果》

事前審査	事業者数 2社 結果 PwC コンサルティング合同会社 総合点61点（適合） 対話対象者 A社 総合点61点（適合） 対話対象者
本審査	事業者数 2社 結果 PwC コンサルティング合同会社 総合点68点（適合） 対話対象者 A社 総合点58点（適合） 対話対象者
最終の技術的対話	優先交渉権者PwC コンサルティング合同会社と最終の交渉等の結果、合意ができたため、契約予定事業者とする。

《PwC コンサルティング合同会社との技術的対話の過程》

技術的対話の時期・回数	令和2年9月1日～10月1日まで3回実施
企画提案書への改善要望	① 契約期間を考慮の上、短期間でも成果が残せる提案にするよう改善要望 ② ①の提案に応じた実施体制に改善要望
事業者からの改善可否等	① 改善可：アジャイル開発の実践プロセスであるスクラムの手法を応用して、常に発注者及び支援対象府省の要望を吸い上げ、支援タスクに反映し、迅速かつ円滑な方向修正を実施することで、短期間でも成果を残すことが可能である。 ② 改善可：案件の進捗・難易に応じて、随時、適切に工数を振り直し、適切な人数・体制にすることで、柔軟な対応を可能とする。
CIO 補佐官からの助言等	① プロジェクトマネジメントにはできるだけ工数をかけずに、支援対象府省に対する説明等実作業に工数を割いてほしい。 ② クラウド移行について経験が豊富な技術者が中心となって業務に当たってほしい。 ③ 各府省に対する支援に当たっては、費用、移行の容易さとこれらにより得られる効果を考慮した上で、リファクタリングを中心に可能な限りクラウドに最適化したアーキテクチャの再構築を提案してほしい。
事業者から自発的な改善	各府省に対する支援に当たって、第二期政府共通プラットフォーム自体への要望や改善提案をまとめることで、第二期政府共通プラットフォームの最適化にも寄与する。

《その他》

IT室評価	<ul style="list-style-type: none">• 全体を通して、公平性、透明性、経済性の観点から、適切に技術的対話を実施されていた。• 本件は、技術的対話を3回実施しており、その内の1回を見積交渉に充てるなど、効率的・効果的な対話が行われていたことは評価できる。
-------	---